

真人の風

第 91 号(不定期)
(令和8年10月25日)
(全 戸 配 布)

地域づくり 91 号

発 行: 真人地区町内会長協議会
会長: 藤巻 尚郎 編集: 久須美徹也
真人ふれあい交流館 Tel 86-3002

南部地域の学校・教育環境に関するアンケート結果報告会 10月1日(木) 克雪管理センター

小千谷市の学校再編計画の策定に向けた具体的な検討が進む中、学校教育に関する情報を共有し、地域の意見や課題を整理するために「南部地域・学校の在り方検討プロジェクト」が立ち上げられました。このプロジェクトは単なる人口減少に伴う学校統廃合の話ではなく、子供たちと地域の将来にとってより良い学校の在り方として、統合への賛否を先に決めるのではなく、保護者・地域住民などが公平に参加し、「南部地域にどのような学校が望ましいか」を中立的かつ透明性のある形で取り組みをして

きました。

この度、南部地域 学校教育環境アンケートの結果がまとまりましたので、その結果報告会が開催されました。

アンケートの対象は児童・生徒・保護者(未就学児の保護者含む)とし、7月24日から31日まで行われました。

アンケートへの回答は児童6件(南小4〜6年生)、生徒17件(南中1〜3年生)、保護者37件(未就学児保護者含む)から回答がありました。

アンケート結果の中で児童・生徒の考え方として、現在の学校生活が楽しい児童83.3%生徒94.1%。現在の人数を受け入れる児童66.7%、生徒64.7%。

将来への期待と懸念では、児童が新しい友達への期待66.7%、友達関係の変化への不安59%。生徒が多様な人と学ぶこと、選択肢の増加を期待52.9%、活動の種類を増やしたい47.1%とありました。現状には満足しているものの、

将来の環境が変わることに對し期待半分不安半分といったところでしょうか。

報告会には教育長、市教育・保育課からも参加、地元からも20名程度参加しました。

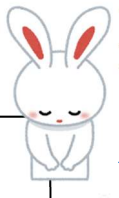
参加者から学校統廃合時の教員の加配について、他地域の動向など質問がありました。

教員の加配については3年間は認められているとのこと。また、他地域の動向として吉谷小学校は小

千谷小学校に、和泉小学校は千田小学校に統合。東山小学校については児童数が1桁になった場合統合を検討することでした。

小千谷市立小中学校の在り方検討委員会の答申は昨年9月24日に出されており、市においても答申に基づき、今後の市内小中学校の在り方が示されるものと思います。

南部地域においても早めに向向性を定めなければならぬものと考えます。



字が小さくてすみません。虫めがねを利用してご覧ください。

4 地域が求める4つの基本条件

アンケート全体を通して、今後の案を比較する際に欠かせない条件は、次の4点に整理できます。いずれ一つではなく、同時に実現できるかを確認することが重要です。

01 個別に目が届く 一人ひとりに応じた支援、基礎学力の確保、相談しやすい体制を将来も維持する。	02 安心して学べる 落ち着いた学習環境と人間関係を守り、いじめ・不登校や環境変化への支援を具体化する。
03 多様な人と関われる 新しい友達や考え方に触れ、話し合い、行事、部活動などの選択肢を広げる。	04 安全に遇える 距離だけでなく、季節、朝夕の時刻、活動後の便、家庭負担まで含めて通学を設計する。

5 通学は日々の生活条件で判断する

通学では、積雪・凍結、猛暑、熊、急坂、距離に加え、徒歩・待ち時間・乗車・乗換えを含む総所要時間、朝の出発時刻、帰宅時刻、部活動後の便、家庭送迎が具体的な心配として挙げられました。教育委員会が示す「おおむね1時間以内」は上限の考え方であり、その時間への地域の同意を意味するものではなく、再編がある場合の統合校や地区ごとに具体的に知る必要があります。

地域との関係 地域の人に見守られて育つこと 64.9%、地域行事・地域学習 48.6%、学校の場所にかかわらず地域との関係を保つ工夫 45.9%が重視されました。	放課後・家庭生活 学童保育、部活動後の移動、地域活動、制服・体操着等の移行費用、学校施設の地域利用も、学校配置と切り離さずに検討する必要があります。
--	---

6 結論を急ぐことより比較できる情報を

保護者は、早い時期に方向性を示すことと同時に、子ども・保護者の意見を丁寧に聞き、分かりやすい資料を公開することを求めています。「早く示すこと」と「丁寧に検討すること」は対立するものではなく、複数案と支援策を早期に示した上で、十分な意見交換を行うことが必要です。

保護者が求める検討の進め方



7 今後具体的に示してほしい情報

① 複数案の比較 南小・南中を分け、維持・交流拡大・再編など様々な学校形態を同じ指標で比較できるようにすること。	② 教育と活動 教員配置、個別支援、相談体制、部活動・行事が各案でどう変わるかを示す。また、何ができるようになり、何ができなくなるのか。
③ 通学と家庭負担 実測ルート、冬期、活動後便、学費、費用、欠席時対応を具体化する。部活動の地域展開も含め、具体的な活動の変化について。	④ 移行と地域 事前交流、不登校支援、地域学習、見守り、施設利用の継続策を示す。懸念される不登校の実態とその対策へ変化があるのか。

南部地域 学校教育環境アンケート結果概要

アンケート結果報告会 配布資料 令和8年10月1日

この資料は、南部地域の学校や教育環境について寄せられた回答の全体像を共有し、今後の小千谷市の学校の再編計画へ向けた南部地域の基礎資料とするものです。アンケートは特定の再編案への賛成・反対を直接尋ねたものではありません。

児童	生徒	保護者	調査方法
6件 南小4-6年生	17件 南中1-3年	37件 未就学児保護者を含む	令和8年7月24日-31日 無記名 Google フォーム

※対象となる児童生徒数・配布冊数数が提供されていないため、回答率は算出できません。

1 結果の全体像

現在の学校・園生活への肯定的回答は、児童83.3%、生徒94.1%、保護者78.4%で、いずれも高い水準でした。一方、将来の児童生徒数の減少に伴い、人間関係の固定化、学習や活動の選択肢の縮小、通学負担を心配する声も確認されました。現状を否定するのではなく、現在の良さを残しながら将来に備えることが中心的な課題です。

現在の学校・園生活への肯定的回答



2 回答者別に見えたこと

対象	現在の評価	将来への期待と懸念
児童	学校生活が楽しい83.3%。現在の人数を受け入れる回答が66.7%。	新しい友達への期待66.7%。友達関係の変化への不安50.0%。現在の関係を保ちながら交流を広げる移行が必要です。
生徒	学校生活が楽しい94.1%。現在の人数を受け入れる回答が64.7%。	多様な人と学ぶこと、選択肢の増加を各52.9%が期待。活動の種類を増やしたい回答も47.1%ありました。
保護者	個別に目が届く62.2%。落ち着いた学べる48.6%を評価。	多様な交流を62.2%が希望し、人間関係の固定化を59.5%が懸念。少人数の良さや交流の広がりへの賛意を求めています。

3 結果を通して見える中心的な論点

保護者の回答では、「個別に目が届く」と「多様な交流」がともに62.2%でした。また、少人数で安心できる関係を評価した15人のうち8人は、多様な同世代との交流も求めています。求められているのは、学校規模を単純に大きくするか小さく保つかという二者択一ではなく、個別支援と安心感を保ちながら、交流・学習・活動の幅を広げる具体策です。

自由記述で評価された点 友達との活動や異学年交流、少人数による手厚さ、自然・地域に囲まれた環境、学校が地域の拠点となっていること。	自由記述で示された課題 人間関係の固定化や遊び場の少なさ、部活動・行事の制約、積雪・猛暑・熊を含む通学、子どもへの個別と意見反映。
--	--

アンケートとは関係ありませんが、10月19日南中学校総合学習でおちやの熱気球を学んだ時の写真です。無事上がって良かったです。



デイホーム「まっと」 からのお知らせ

デイホーム「まっと」創設時から中心に活動していただいた羽鳥千佳子さんが自己都合により8月をもちましてデイホームの運営から退くことになりました。27年間の長きに渡り本当にありがとうございました。

デイホーム「まっと」は真人里地区、芋時地区、真人北部地区の3地区で構成されています。3地区共に月1回のうどん・そばと茶話会の日、お弁当の日があるほかに花壇の草取り活動を行なう地区もあります。

近年、里地地区ではデイホームに参加していただける人数が少なくなりスタッフも寂しい思いをしております。

新たなスタッフを迎える準備もしておりますので、気軽にデイホームに参加して見ませんか。

11月10日(火) 10時から交流館でお茶飲み会を開催いたします。
気軽に参加して見ませんか。
スタッフ一同お待ちしております。

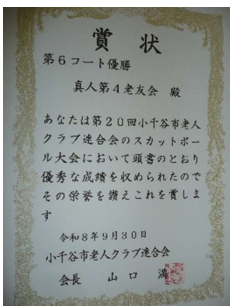


スカットボール大会 コート優勝

真人第4老友クラブ
(芋時町内)

9月30日 総合体育館

小千谷市老人クラブ連合会主催の第20回スカットボール大会が開催され、32チームが8コートに分かれ熱い戦いが展開されました。新谷晴久監督率いる真人第4老友クラブ(芋時町内)がコート優勝を果たしました。コートを勝ち上がった代表チームによる決勝ラウンドでは残念ながら総合優勝は逃しましたが、来年こそ優勝を目標に練習を重ねることに。頑張ってください。期待しております。



ファームステイ

農業実習生受入れ
(株)Mtファームわかち

10月1日から7日までの間小千谷市内でファームステイが行われ、明治大学農学部食料環境政策学科の学生9名をMtファームわかちが受入れ、稲刈り作業を手伝うなど農業実習が行われました。現場ではUx新潟テレビ21の取材があり、夕方のスーパーJにいまでも放送されました。

農学部学生ではありませんが今どきの若者という感じではありません。今回の実習体験を通じ単純に食料としての「米」ということではなく「おいしいお米」、そして「農業への愛」が強まったのではないかと期待しています。

学生の実習風景です。



買物バス運行

11月5・12・19・26日
12月3日
木曜日 シルバーデュー

原信桜町店に参ります。皆様お誘い合わせてご利用ください。

集合時間 9時30分

集合場所 真人ふれあい交流館

買物先 原信桜町店

(買物時間 約40分)

申込み

真人ふれあい交流館

Tel 86-3002

申込内容

お名前、町内名、電話番号

送迎の有無を伝える

利用料金 実費相当の寄付

対象者 真人里地・芋時町内住民

申込人数 運行一回9名

申込期限 各運行日の3日前(月曜)

※3日前の月曜日が休日の場合は金曜日までに連絡願います。

※毎週木曜日に買物バスを運行することとして試行いたします。



温泉送迎バス

11月18日(水)

えちご川口温泉

11月は川口温泉送迎バスを運行いたします。今年の稲刈りは特別疲れもあるかと思えます。温泉で疲れを癒して頂ければと思います。皆様のご利用をお待ちしております。

集合時間 10時00分出発

集合場所 真人ふれあい交流館

行き先 えちご川口温泉

帰りの温泉発時刻

15時30分発

申込み期限 11月13日(金)

申込先 真人ふれあい交流館

問合せ先 Tel 86-3002

申込内容 氏名、町内名、電話番号、乗車場所をお伝えください

利用料金 実費相当の寄付

対象者 真人里地住民を対象

申込人数 9名(先着順) 5名未満の場合は中止します。その際は関係者に連絡します。

※送迎費用のほかの経費は各人の支払いとなります。

【編集後記】
もうすぐ11月。秋というより一気に朝夕肌寒い季節となりました。皆さま体調はいかがでしょうか。「まっと秋の陣」という収穫祭もありました。今年の稲刈りは例年以上に大変だったと聞いております。本当にお疲れさまでした。次号「真人の風」は稲刈り特集を掲載する予定です。



9月21日から30日の秋の全国交通安全運動に合わせおこなわれた小中学校合同あいさつ運動のひとつです。

